

NSC Database Library

NSCデータベース製品(国勢調査地図版)のご案内

町丁に近似した地域区画で、国が公表し誰でも利用できる「国勢調査町丁・字等別地図」の住所コードに対応した、当社国勢調査地図版データベースのラインナップを紹介します。

推計就業者所得

就業者所得とは

地域別に、平均的な就業者所得はどの程度なのか、どれ位の所得の人がどれ位いるのかを知りたいというニーズから生まれた商品です。

就業者の所得に影響が強いと考えられる居住地、性別、年齢、就業先産業による格差に着目し、国勢調査、賃金構造基本統計調査などを用いて作成したデータベースです。

所得ランク別の推定にあたっては、賃金構造基本統計調査における性別年齢別産業大分類別の平均所得額に応じた各ランクへの分散傾向をモデル化し配分することとしました。

就業者所得指標区分

就業者所得指標
就業者所得額
全所得ランク合計就業者数
300万円未満所得就業者数
300～500万円未満所得就業者数
500～700万円未満所得就業者数
700～1,000万円未満所得就業者数
1,000万円以上所得就業者数
就業者1人当りの所得額

※国が公表する2020年国勢調査町丁・字等別地図に対応したデータベースです。
※当データベースの提供年次は、2021年です。

推計就業者所得(概要・価格)

概要

このデータは、賃金構造基本統計調査(厚生労働省)における性別年齢別産業分類別就業者の分布に、当社の町丁別データを組合せ分析することにより、就業者1人当り所得額、所得ランク別就業者数を推計したものです。

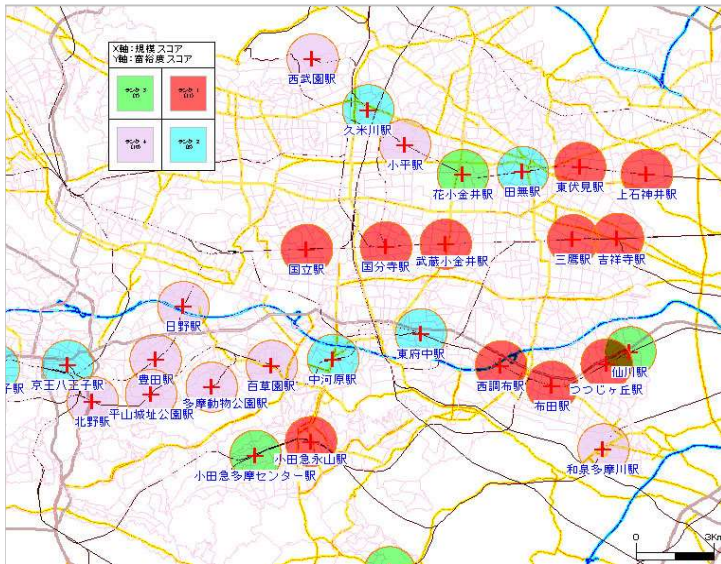
所得ランク別の推定にあたっては、賃金構造基本統計調査における性別年齢別産業大分類別の平均所得額に応じた各ランクへの分散傾向をモデル化し配分することとしました。

★活用事例

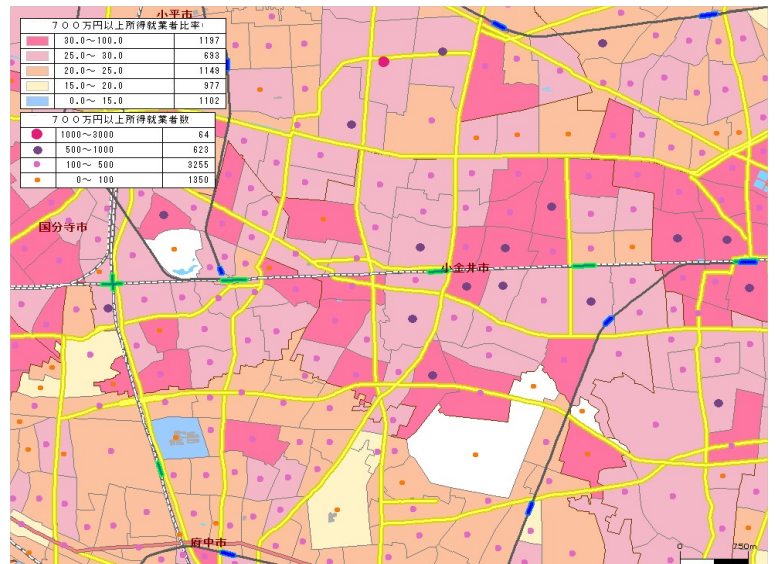
- 一定収入以上(下図参照、ここでは700万円以上)の就業者数規模を確認
⇒特定商品の折込チラシ配布エリア等の絞り込み、地域別販売目標の設定等に利用できます。
- 推計就業者1人当りの所得額指標を使って、営業エリア、商圈範囲等における所得水準を判断
⇒営業を掛ける場合の推奨商品の選定、または来客型の場合の品揃えの検討材料等に利用できます。
- スコア化することにより地域特性としての富裕度を評価
⇒既存店や出店候補地の立地性を評価するための要素として用いることができます。

サンプルマップ

駅周辺地域(1km圏)の規模スコアと富裕度スコアによる
ランクマップ



700万円以上所得就業者比率と同就業者数



規模スコアと富裕度スコアの散布図のランク値をマップ上に表したものです。地図上で見ることで市場規模と富裕度の両面からみた駅周辺地域の地域特性を俯瞰することができます。

所得額が一定収入以上(ここでは700万円以上)の就業者比率により、各町丁の塗り分けを行っています。また、各町丁に表示したポイントの大きさは、700万円以上所得就業者の数の多さを表しています。

価格

価格は、地域範囲、ライセンス数等により変動します。詳細についてはお問い合わせください。

全国 1,000,000円、地方版 250,000円、分県版 50,000円 (例: 1ライセンスの場合)

※上記価格は消費税を含みません。また、提供形態により別途編集費用が必要となる場合があります。

お問い合わせ先

データベース部 dbg@nihon-toukei.co.jp

※ご購入後のデータ活用方法についても、お気軽にお問い合わせください。

NSC 株式会社 日本統計センター
Nippon Statistics Center co.,ltd.

URL <https://www.nihon-toukei.co.jp/>



東京 (03) 3847-1701 大阪 (06) 6441-5428
北九州 (093) 521-3726